



新たな

時代に向けて

桜川市長

おおつか ひでき
大塚 秀喜

桜

川市は、平成の大合併により平成17年10月1日に岩瀬町・真壁町・大和村の2町1村が合併し誕生いたしました。この記念すべき10周年の節目を迎えることが出来ましたことは、市民の皆様方のお力添えの賜であると心より感謝申し上げます。

さて、この10年間を振り返りますと、景気の低迷や少子高齢化、人口減少など厳しい社会情勢のなか、行財政改革を実施しながら、大和中学校の建て替えや真壁伝承館の建設、桜川市学校給食センターの建設などの公共施設整備をはじめ、デマンド交通の運行開始、防災行政無線のデジタル化などの諸事業に取り組んでまいりました。また、北関東自動車道・桜川筑西インターチェンジが開通し、真壁地区の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、県内外より多くの方が桜川市を訪れるようになりました。

一方、新中核病院と桜川市立病院の

整備につきましては、県西総合病院と

山王病院、筑西市市民病院の三つの病院を再統合することで筑西市と合意がな

され、今後、両病院の役割や機能分担などについて協議してまいります。また、企業誘致につきましては、北関東

自動車道・桜川筑西インターチェンジ付近で、民間活力による開発を推進して

います。さらに、少子高齢化、人口減少へ対応するため「長期人口ビジョ

ン」及び「総合戦略」を策定するとともに、定住促進対策や子育て支援、学

校教育の充実など若い世代が安心して子育て出来る環境整備にも取り組んで

まいります。

そして、本年が桜川市の新たな時代の礎となりますよう主要施策に全力で

傾注するとともに、本市の発展基盤となります取組みをさらに加速させてま

いりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

し上げます。



輝き続け

繁栄する桜川市

桜川市議会 議長

うしおだ しんせい
潮田 新正

地

方分権時代の「平成の大合併」によりまして、平成17年10月1日に岩瀬町・真壁町・大和村の2町1村が合併して「桜川市」が誕生し、本年度で10年になります。当時、西茨城郡の一部と真壁郡の一部が合併するという方向性が示された時、これでいいのか、どのような形で合併すればいいのか、日夜、熱い議論が交わされたことを昨日のことのように思い出します。

この10年を振り返って見ますと、記憶から拭い去ることのできない大きな出来事は、平成23年3月11日に発生した未曾有の大震災であります。東日本を中心に、一瞬にして尊い生命・財産が奪われてしまいました。本市では、特に真壁地区で甚大な被害を受けたことは記憶に新しく忘れることのできない辛い出来事でありました。

しかし、ふるさと・伝建地区に対する愛着と復興への熱い思いで、地域が一丸となってスピード感を持って取り

組み、元の風情ある姿に戻ってきました。この力強い復興への思いが感動と希望を与えてくれましたし、この桜川市から全国に向けて「元氣」を発信してくれたものと信じております。

あつという間の10年でありましたが、同じ風習・習慣を共有する者同士でも、町村単位、あるいは集落単位に、長い年月の間に培われてきた生活文化の違いがあります。あるいは、利害の一致しないところなど、多くの困難を乗り越えて、合併のために奔走された方々、特に当時の三首長、議長、議員、関係者各位のご苦勞に改めて敬意と感謝を捧げるものでございます。

本市は、山や川・桜など、豊かな自然環境に恵まれています。ふるさとを愛することで、幸せをもたらし、輝き続け、繁栄するものと信じております。終わりに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。